

# モニタリング結果報告書 (令和2年度)

## 1. 施設概要

施設名	(三崎漁港) 宮川特別泊地・宮川一時停係泊特別泊地・宮川環境整備施設		
所在地	神奈川県三浦市三崎町六合地先		
サイトURL	http://miura-miyagawa.com/		
根拠条例	神奈川県漁港管理条例		
設置目的(設置時期)	三崎漁港におけるプレジャーボートの利用増加に対応するため、漁港内に混在するプレジャーボートと漁船を分離・集約し、漁港の多目的利用を推進するため、停係泊施設、駐車場及び管理棟等を設置する。(平成13年10月供用開始)		
指定管理者名	みうら漁業協同組合		
指定期間	H28.4.1 ~ R3.3.31 (2016年) (2021年)	施設所管課 (事務所)	水産課 (東部漁港事務所)

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
※新型コロナウイルス感染症が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。	
利用状況はS評価、利用者の満足度はA評価、収支状況はA評価で、3項目評価はA評価となり、適正に業務が行われていたと認められる。引き続き業務の適切な運営に努め、経費の節減や施設の利用促進を図る努力も継続していただきたい。	
<各項目の詳細説明>	
◆管理運営等の状況 事業計画に基づいて、施設の維持管理、受付、案内、巡視、清掃、保守点検及び利用料金の徴収業務が適切に行われたと認められる。	
◆利用状況 4月から5月にかけての新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた県の基本方針に基づく施設の閉鎖があったものの、前年度実績である目標値を上回りS評価となった。当施設の利用状況は天候による影響が避けられないが、施設の利用促進に向けて努力していた。	
◆利用者の満足度 アンケート調査の結果、施設管理について回答者の9割近くが満足としているが、A評価となった。今後も引き続き利用者満足度の向上に努められたい。	
◆収支状況 人件費が経費に占める割合が高く大幅な節減が困難な状況にある。さらに令和2年度は消毒の徹底や間仕切り板の設置など施設内の建物等での感染拡大防止対策にかかる費用負担等により、収支差額・収支比率ともに前年度に比べやや減少し、収支比率は100.46%となりA評価となった。今後も引き続き更なる経費の節減や利用促進の取り組みに努められたい。	
◆苦情・要望等 指定管理者に責のある苦情・要望等はないが、施設改修等に関する要望について県と適切に情報共有を図っており評価できる。	
◆事故・不祥事等 指定管理者に起因する事故・不祥事等は一切無く、今後も良好な維持運営を継続されたい。	
◆労働環境の確保に係る取組状況 指摘・指導事項は皆無であった。	
◆その他 令和2年度の3項目評価はAとなった。今後とも引き続き適切な管理運営に努めるとともに、施設利用者数の増を図っていただきたい。	
3項目評価	S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう
A	

### 3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	なし
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	週2回程度現場確認 (不定期)	なし
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ <b>無</b>	指導・改善勧告等の内容

### 4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
○年度協定書の事業計画において、施設の維持管理に関する業務、施設の運営に関する業務及び利用料金の徴収に関する業務に関して、それぞれ具体的な業務内容や作業頻度が提案されている。	○各業務とも提案のあった作業内容及び作業頻度は満たされており、指定管理業務は適切に実施されていた。 ○利用者への対応については、9割近くから満足の評価が得られた。	○引き続き適切な運営が望まれる。
○維持管理に関する業務 安全航行に関する規定、気象や海洋情報を利用者が出港する前に確認できるよう情報提供する。	○施設利用に関する規定をはじめ、気象・海洋情報を見やすい場所に掲示し随時更新していた。悪天候の場合は利用者に連絡し周知に努めていた。 ○漁業活動への支障が生じない様に、漁港内は漁船が優先であることを利用者に指導し、施設利用にあたってのトラブルの防止を図っていた。	○提案どおり適切に行われていた。
○新型コロナウイルス感染症への対応	○拡大防止に向けた県の基本方針に基づき令和2年4月から5月まで指定管理施設を閉鎖した。 ○6月以降の運営再開後に、消毒の徹底や間仕切り板の設置など、施設内の建物等での感染拡大防止対策を講じたほか、感染防止対策取組書の掲示、LINEコロナお知らせシステムの導入を実施した。	○適切に感染防止対策がなされていた。

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の主な内容	実施状況等
*小型船舶検査立会代行、艇管理代行 *プレジャーボート責任保険（日本漁船保険組合）の取次	*艇のJCI検査受検に所有者に代わって立合い（3隻）、遠地居住者の艇管理（1隻）、船底清掃（2隻）。 *特別泊地利用者の約6割から責任保険の加入取次。
*器材の貸出	バーベキュー器材の貸出は、平成29年10月23日の台風21号の通過に伴う高潮により器材が全て流失してしまい休止中。
*給水、給油、海産・農産物販売	*特別泊地利用者への給水、給油のサービスを周年提供した（給油の利用実績はなし）。地元生産者からの委託を受けスイカ販売。

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

## 5. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
S	

	前々年度	前年度	令和2年度
利用者数※	8,494	8,663	11,533
対前年度比		102.0%	133.1%
目標値	7,658	8,494	8,663
目標達成率	110.9%	102.0%	133.1%

目標値の設定根拠： 前年度の年間利用実績（駐車場利用台数＋泊地許可艇出港隻数＋一時停係泊地利用隻数）

利用者数の算出方法（対象）： 駐車場：有人による利用料金の徴収実績による  
 泊地：出入港届（特別泊地）、一時停係泊特別泊地利用届出書から算出

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

駐車場の利用台数及び泊地の利用隻数

<b>【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】</b> （※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）
①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響  <p style="text-align: center;">—</p>
②令和2年度の対応状況 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた県の基本方針に基づき令和2年4月から5月まで指定管理施設を閉鎖したが、6月以降施設内の建物等での感染拡大防止対策を徹底して運営を再開した。

## 6. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
A	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	＊簡易アンケート：管理施設の窓口に常時用紙を備え利用者に記入していただくなど、簡便な方法で随時実施 ＊詳細アンケート：アンケート用紙を利用者に一斉に送付し、回収・分析するなど、詳細な内容で定期的実施	＊簡易アンケートは、施設管理棟の窓口にアンケート用紙を用意して記入をお願いしたが、回答が得られなかった。 ＊詳細アンケートは、1月上旬に郵送により施設利用者81名にアンケート用紙を郵送し、48通の回答を得た。

[ サービス内容の総合的評価 ]

質問内容 ・施設の管理・運営について（利用者への対応＋施設・整備の状況＋総合）  
 （とてもよい、よい、やや悪い、悪い）

実施した調査の配布方法 郵送 回収数／配布数 48 / 81 = 59.3%

配布(サンプル)対象 宮川特別泊地利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	7	35	4	2	48	＊設備や台風被害の未補修部分に対して若干の不満があるのではないかと推察される。
回答率	14.6%	72.9%	8.3%	4.2%		
前年度の回答数	10	32	4	0	46	
前年度回答率	21.7%	69.6%	8.7%			
回答率の対前年度比	67.1%	104.8%	95.8%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<b>【新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響と対応状況】</b> (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)
①新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響 —
②令和2年度の対応状況 —

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[ 指定管理業務 ]

(単位：千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	9,773	5,000			14,773	14,773	0	
	決算	9,773	5,884			15,657	15,483	174	101.12%
前年度	当初予算	9,863	5,000			14,863	14,863	0	
	決算	9,863	6,177			16,040	15,930	110	100.69%
令和2年度	当初予算	9,863	5,000			14,863	14,863	0	
	決算	10,875	8,449			19,324	19,235	89	100.46%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和2年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

**【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】**  
 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響  
 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた県の基本方針に基づく施設の閉鎖により、令和2年4月から5月までの利用料金収入が832千円減収した。

②令和2年度の対応状況  
 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた県の基本方針に基づく施設の閉鎖による利用料金収入の減収等に対応するため、9月補正予算により、県との協議を通じて指定管理料の増額を行った。

8. 苦情・要望等  該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等  該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。